

# 会 議 要 録

会 議 名	第23回 八王子市生活安全対策協議会		
日 時	平成29年2月21日（火） 午後2時～3時30分（1.5時間）		
場 所	八王子市役所本庁舎議会棟4階 第6委員会室		
出席者（敬称略）	委 員	早川 百合枝、中嶋 廣一、清水 栄、猪瀬 寛、綿田 直樹、 内田 智、梶原 正統、酢屋 善元、松崎 充博、鶴我 能史、 尾形 紀雄、小澤 篤子、廣瀬 勉 <span style="float: right;">計13名</span>	計18名
	説 明 者	（委員、事務局等）	
	事 務 局 等	藤倉生活安全部長、福島防犯課長、安岡主査、魚原主査、川口主任 <span style="float: right;">計 5名</span>	
欠席者（敬称略）	岡本 雅史、遠山 達雄、北島 剛、加藤 明人、鈴木 麗加、朝日 裕（代理： 児玉課長代理）		計6名
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成28年度 生活安全対策 事業実績報告について</li> <li>2 市内の犯罪発生状況と対策について</li> <li>3 各警察署管内の犯罪発生傾向と対策等について</li> <li>4 その他</li> </ol>		
公開・非公開の別	公開		
非 公 開 理 由			
傍 聴 人 の 数	なし		
配 布 資 料 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 次第</li> <li>● 資料1：平成28年度 生活安全対策 事業実績報告</li> <li>● 資料2-1：平成28年12月末犯罪発生状況対比表</li> <li>● 資料2-2：市内振り込め詐欺などの特殊詐欺被害認知状況</li> <li>● 最新委員名簿</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">} 事前配布</div>		
会 議 の 内 容	（次のとおり）		
会 議 録 署 名 人	平成29年 5月 9日 署名人 綿田 直樹		

会議の内容 【 】：発言者

## 1 開 会

【福島課長（事務局）】

- ・ 着任挨拶
- ・ 配布資料の確認
- ・ 途中改選による新任委員の紹介及び挨拶

## 2 部長挨拶

【藤倉部長（事務局）】

- ・ 日頃より委員の皆様には本市生活安全対策に様々な形でご協力を賜り御礼申し上げます。
- ・ 本市は今年、大正6年に市制施行して100周年を迎える節目の年となる。10月1日には記念式典が行われ、9月の中旬からは富士森公園を中心に「全国都市緑化はちおうじフェア」も開催される。市民提案事業を含め、全体で121ものイベント及び事業が予定されており、多くの市民の皆様に参加いただきたい。一方で人が多く集まる場所での安全対策や救急対応についても対策をとることが必要であると考えており、警察、消防関係機関とは現在調整をさせていただいているところである。
- ・ 犯罪の認知件数については、平成12年をピークとして、本市を含め全体的には減少傾向である。これは防犯カメラの普及等、要因は様々であるが、日ごろから地域の皆様がパトロールなどを行っていることも大きいと考える。一方で、特殊詐欺や女性や子どもを狙った事件は毎日のように報道され、市民の犯罪に対する不安は依然強いと認識している。生活安全対策は本市の重要な施策として位置づけられており、今後も安全安心に対する取り組みに対し、さらに充実させていきたいと考える。
- ・ 本協議会の委員の皆様においては、関係機関との情報共有、意見交換等を通じてご意見を出していただき、その内容をさらに市民の安全安心の向上に反映させていきたい。

## 3 開催

【福島課長（事務局）】

- ・ 欠席連絡

### ■協議会の成立

- ・ 委員総数19名のうち現時点で13名の委員が出席されており、過半数を超えたため、本協議会は成立する。

### ■情報公開

- ・ 本協議会は、条例施行規則第6条9項に基づき原則公開であるが、傍聴人なし。
- ・ 協議会の議事録は、原則として発言者の名前を記載した要点筆記方式であり、内容の正確さを記すため、会長に確認、署名をいただいている。

## 議題1 平成28年度 生活安全対策 事業実績報告について

【安岡（事務局）】

- ・ 資料1に沿って説明。

## 質疑応答

- ・ 特になし

## 議題2 市内の犯罪発生状況と対策について

【魚原（事務局）】

- ・ 資料 2-1 に沿って説明。

（以下資料補足）

- ・ 本市の特徴としては、各刑法犯はおおむね減少傾向であるが、特にオートバイ盗については件数が大幅に減少（前年比-60%）している。しかし依然として他市と比較すると自動車盗、車上狙い、オートバイ盗の発生件数が多い。
- ・ オートバイ盗や自動車盗は無施錠であることが多く、侵入盗についても玄関のドアや窓の無施錠による被害が多くみられる。
- ・ 人口は増加しているが、犯罪は減少しており、八王子市は住みやすいまちの実現に向けて進んでいるといえる。

- ・ 資料 2-2 に沿って説明

（以下資料補足）

- ・ 昨年は被害件数の増加はくい止めたものの、被害額は増加してしまった。特殊詐欺被害件数のうち、オレオレ詐欺によるものは 39 件で全体の 56%であった。その多くは 71 歳以上の女性であり、75%の方が現金やキャッシュカードを直接受け子となる犯人に手渡している。
- ・ 若年層から中年層に多い被害としては、アダルト系サイトの未納料金があるという架空請求があり、プリペイドカードの番号を教えて、コンビニにあるアマゾンカード等のプリペイドカードのポイントを詐取されてしまうものが多い。
- ・ 今後の市の対応としては、警察署からの情報提供をもとに青パトの巡回強化や犯罪情報メール配信等の情報発信をして市民の方に注意喚起をおこなっていく。また、高齢者を対象に出前講座を行い、特殊詐欺の注意喚起をおこなう。また、無施錠による侵入盗をなくすために、市民の方々に鍵かけを促していく予定である。

## 質疑応答

【酢屋委員】

- ・ 資料 2-1 にある順位について、何位までなのか。

【魚原（事務局）】

- ・ 都内 53 市区町村を対象としているため、53 位までである。

【藤倉部長（事務局）】

- ・ 昨年も全体的には犯罪は減少しているが、今回オートバイ盗や自転車盗についての大幅な減少が見られた。それは何か警察の方で対策を取っていたのか。防犯カメラを設置していたとか、対応したことはあるのか。

【松崎委員】

- ・ オートバイ盗が減少となった理由としては、昨年オートバイ盗犯（少年グループ）を検挙したのが原因であると思われる。

【酢屋委員】

- ・ 犯人は、盗んだバイクをどうするのか。自分で乗るためか。

【松崎委員】

- ・ 転売はしていないと聞いている。彼らは、バイクのパーツが欲しいために、バイクを丸ごと盗み、離れたところで解体し不要なものは廃棄している。

【綿田会長】

- ・ 自動車盗が2位であるが、何か傾向等あるのか。

【松崎委員】

- ・ ハイエースが狙われる傾向にあり、盗まれた車はヤードという塀に囲まれた工場に持ち込まれ、解体し部品を外し、他の車体を合体し、違う車として海外に売られるケースもある。海外の地域の需要によって車種も変わり、少し前はランドクルーザーが狙われていた。

【中嶋委員】

- ・ 刑法犯の減少は喜ばしいと感じる。
- ・ 資料にある振り込め詐欺被害については、ひとりひとりが気をつければ防げるはずだが、犯人の巧妙な手口によりまだまだ被害にあったり、巻き込まれてしまう。
- ・ テレビでは北朝鮮の金氏殺害のニュースが取り上げられているが、その際も防犯カメラの映像が、捜査に使われていた。
- ・ 通学路の防犯カメラは、ひとつの学校に対し5台を設置していただいた。これは、子どもたちの安全のためでもあるが、地域に住んでいる市民も安全に暮らしていている。今日は子ども家庭部の小澤委員や学校教育部の廣瀬委員もいるが、実際に設置した効果はどれくらいあったのか。また、東京都の助成金もあり設置したものだが、そのカメラをもっと増やすことができないか。街には商店街等に防犯カメラがあるが西側に来れば来るほど、少なくなる。通学路だけでなく、もっと台数を増やしていただきたい。

【廣瀬委員】

- ・ 通学路については今年度までに69校に設置する。（一校あたり5台、計345台）その効果は、たくさんあるが一つには、どこにつけるかをスクールガードリーダーや地域の方々と積極的に話し相談できた事だと思っている。
- ・ 市の方に、警察から問い合わせがあった件数は、42件69か所であり、内容についてはここで話せないが、それにより案件の解決につながったと聞いている。
- ・ 今後は、平成30年度までに107校の各学校の校門に防犯カメラを設置し、通学路とその死角を補うような形で設置を進めている。（各校1台）

【藤倉部長（事務局）】

- ・ H29年度は新たに町会自治会への補助という形で予算化をしている。
- ・ 公園は夜になると暗くなり、犯罪が多発する可能性が高くなるため、公共施設の出入り口含め、警察署

とも相談しながら、設置に向けて検討している。

【中嶋委員】

- ・ 以前、公園に防犯カメラを実費で設置したという話をしたが、公園内の水銀灯は22時くらいに消えてしまうため、市に依頼し朝まで点灯してもらえるようになった。
- ・ LED電球が普及しており、公園の照明についても古いものからLEDの照明に交換してほしい。予算の問題もあるかと思うが電球交換等の人件費もかからないので、いいと思う。

【藤倉部長（事務局）】

- ・ 公園の話だが、基本的には22時に消灯になるが、地域からの要望があれば、点灯時間の延長は可能であると聞いている。
- ・ 一方で、公園といえば市民の憩いの場であり、カメラで監視されたりするのが嫌な方もいる。他の区部に視察に行ったときに、下町に設置された防犯カメラはほとんど内向きに設置していた。その辺を研究しながら、地域の方々にも相談させていただきながら進めていきたい。

【中嶋委員】

- ・ 元本郷南公園にも2台設置したが、そのことに関するクレームや意見は特に聞いている。保育園の子ども等が、砂場等で遊んでいるが、安全に遊べてよかったと思っている。

【酢屋委員】

- ・ 防犯カメラというのは、照明が消えても撮影できるのか。

【中嶋委員】

- ・ 今のカメラは精度がよく、暗くても撮れるようになっている。

【藤倉（事務局）】

- ・ 値段もさまざまであり、解像度が高いものであれば暗くても、撮れる。

【酢屋会長】

- ・ どうして、公園の照明は消えてしまうのか。節電のために消灯しているのか。

【藤倉部長（事務局）】

- ・ かつては、周辺市民の安眠が優先されたため、消灯されていた。明るいと少年たちの溜り場となることもある。点灯時間については町会自治会など地域の方の声により、対応を検討しているようだ。

【中嶋委員】

- ・ 公園は、夜は遊ぶ場所ではないので、照明が消えるのだと思われるが、暗いところで引き起こされる犯罪もあるので、時代に合わせて地域の賛成が得られれば、点けておけるよう、柔軟に対応してもらいたい。

【福島課長（事務局）】

- ・ 振り込め詐欺について、先日も町自連研修にて防犯講話を行ったが、注意していても被害に遭う方がいる。その防止策として、電話機に接続して使用する自動通話録音機を約800台配布したが、それについては今後も継続していく。

【早川委員】

- ・ 印鑑でお金をおろすと金融機関で声をかけられると聞いた。高齢者で銀行に来ている人は、急いでいない人が多いので、声掛けはこれからもしてほしい。

### 議題3 各警察署管内の犯罪発生傾向と対策等について

#### 【松崎委員】

- ・ 昨年、全体的に犯罪は減少となった。強盗に関しては、昨年より1件増であるが、これはコンビニの万引き犯が逮捕から逃れるために、暴行したもので、すぐに検挙されている。
- ・ 侵入窃盗は-44件。分析すると、特定の地域に集中して侵入窃盗を繰り返すという特徴をもった犯人を検挙できたことで、大幅な件数の減少につながったと考えられる。
- ・ 今年はすでに、特殊詐欺が7件発生しており、前年同時期より2件多く発生している。
- ・ 中でも振り込め詐欺は4件で大学生が受け子になっている事案があった（いずれも検挙済）。話を聞くと、「大学の先輩に誘われてやってしまった」等、かつては、まちの不良が受け子をしている事が多かったが、少年であれば20日間の勾留のみで解放されるため、「また金をやるからやってこい」と言われているようだ。この点については、啓発の仕方を大学とも連携して考えていく予定である。
- ・ アマゾンカードのポイント詐取による架空請求詐欺については、啓発チラシを配布店舗に設置してもらえるよう依頼しているが、自分の店舗で被害の有無に関わらず売り上げになるため、協力してもらえていない。今後は、購入店舗名を出すことも検討しており、協力、注意を促していく。

#### 【鶴我委員】

- ・ 昨年の犯罪認知件数は、東京都と同様減少している。認知件数1,121件（前年比-82件）
- ・ 指定重点犯罪においては、84件（前年比-25件）、侵入窃盗は22件（-23件）
- ・ 対策としては、高齢者宅を訪問し1ドア2ロックを呼びかけ、無施錠による被害防止に努めた。
- ・ 特殊詐欺は、一昨年より1件増加であった。
- ・ 市民に広くだましの手口を知っていただくため、また高齢者が多く利用する循環器等の診療機関8医院に冊子を設置させていただき、最近の詐欺の手法等をお読みいただいた。またバス会社に協力いただき特殊詐欺注意喚起の車内アナウンスをお願いした。本年も減少となるよう努めていく。

#### 【児玉課長代理】

- ・ 振り込め詐欺は33件で前年と比較すると微増となっている。被害額は増えていない。
- ・ 以前は数百万円もの大金を用意するために、定期預金を解約して現金を引き出す傾向が多かったが、最近金融機関での職員の声掛けにより、被害を食い止めている状況である。
- ・ そのため、ATMでお金を引き出させるケースや、タンス預金が被害にあうケースが多い。
- ・ 金融機関から「80歳の高齢の方が200万円を下ろしに来ている」という通報を受け、現場に行くと、「孫から電話がかかってきて現金を要求された」という。結局金融機関での声掛けや警察署員による聞き取り等をしているうちに時間が経過し、犯人も状況を察知したのか、その後の連絡をしてこなくなった。さらに高齢者の話を聞いていると、奥さんが認知症、夫は週3ペースで買い物に出る程度。新聞は購読しておらず、テレビも見ず、一日中猫と戯れている生活であり、外部からの情報が入りづらい状況がわかってきた。
- ・ 高齢者と接触する機会の多いケアマネージャー対象の研修会にて、犯罪発生状況を通して注意喚起を依頼している。また弁当等宅配業者が手渡しする際に注意喚起もしてもらえるよう、小さなチラシを作成し渡してもらっているので引き続きおこなっていく。
- ・ タイヤ泥棒の犯人を検挙した。盗まれたタイヤは転売されていた。

- ・ タイヤは、見えるところに置いておくと、カバーをしてあっても持っていかれてしまうため、自宅保管の際は見えないところにおいてほしい。以前は、アパートのベランダに置いていたところ盗難にあったケースもある。
- ・ 自転車盗被害にあう 65%が学生（中高大学生）である。そのうち半分は無施錠であるため、自転車盗が減らない。大学にもその状況を報告しているが、被害が減らない状況である。

## 質疑応答

### 【中嶋委員】

- ・ 高齢者に関する情報不足について、町会でも懸念していた。警察では、一人暮らしの高齢者の把握はあるのか。

### 【児玉課長代理】

- ・ 駐在が把握している場合もあるが、マンション等の分譲も 40 年経つので空き家か住んでいるが手入れが出来ずにいるのか、わからないところもある。

### 【中嶋委員】

- ・ 警察署は何か事が起きないと動いてくれない印象がある。事が起きる前に、注意して昼夜問わず回ってもらいたい。また孤独死等もあるので気づいていただきたい。
- ・ 個人情報保護法ができてからデータが出せず対応できないことがよくある。せめて町会長くらいは名簿を見ることができ、緊急時に対応できるようになれば、町会としても対応できるが、民生委員ですら知っている情報を教えてくれない。警察、市で解決できれば、高齢者を守れるのではないか。ぜひ検討していただきたい。

### 【内田委員】

- ・ 独居老人に向けて平成 28 年 8 月に「道の駅八王子滝山」にて八王子警察署・八王子防犯協会が振り込め詐欺や交通安全の注意喚起イベントを開催し、約 200 名くらいの方にお越しいただいた。NHK にも取り上げていただき大変好評であった。

### 【松崎委員】

- ・ 八王子警察署では、交番の係員が高齢者宅をまわり、独居の高齢者がいた場合には、その係員から連絡をもらい、可能な範囲でリスト化している。市とは別で調べている。

### 【藤倉部長（事務局）】

- ・ 市では民生委員約 400～500 名が、一人暮らしの高齢者宅に訪問しており、必要な支援や相談を受けたりしている。
- ・ 市は民生委員や介護関連所管や地域包括支援センターから情報を得ている。
- ・ 個人情報を公開することは難しいが、町会自治会により本人の同意を得て、災害時の要配慮者対策として、名簿を作成しているところもある。
- ・ 中には、民生委員からの呼びかけにも対応せず、自分からも外に出ようとしない方もおり、対応を模索しているところである。

### 【早川委員】

- ・ 家にこもると、筋肉がしこりとなることもあると聞いている。そのためか足腰に痛みを訴える高齢者は

非常に多い。公園をきれいにしてベンチを設置し、ふれあいの場を作れば、少しでも家から出て、人と接することができる。そのことが地域の絆を生み、いいつながりが生まれてくると考える。

- ・ 道德教育を活かし、親のない子を温かく迎えられる地域づくりが犯罪を少しでも減らせるのではないか。
- ・ 町会長さんは、地元を見回り道路は町民が交代で掃除をしてきれいにし、犯罪を自分達の手で防ぎたい。

#### 4. 閉会

【綿田会長】

- ・ これで、第23回八王子市生活安全対策協議会を閉会いたします。